

ヤマザクラ

2013 年（平成 25 年）7 月 20 日（土）発行

第 9 回通常総会開催

第 9 回通常総会は、2013 年（平成 25 年）6 月 9 日（日）午後 1 時から、いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘で開催されました。総会の要点をお知らせ致します。

司会者より、総会出席者 35 名、委任状 65 名、合計 100 名と過半数に達し総会成立の報告がされました。会員数 137：（正会員 115 名、家族会員 17、団体会員 5）



議長に鈴木正明さんが選出されました

議長は、鈴木正明さんが選出され、議事録著名人の選任の後に議事に入り、理事長より平成 24 年度事業報告、

会計報告、猪村監事より監査報告があり、慎重審議の結果、原案どおり承認されました。



議案を提案する松崎理事長

平成 24 年度の事業報告の概要は次のとおりです。
市民の森づくり事業

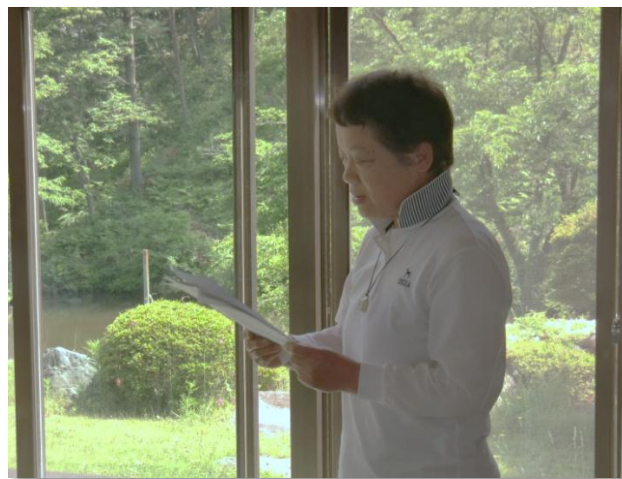
- ・活動人員は昨年比 31% 増。増加分の大半は海岸林の再生整備や国土緑推の「森の教室事業」支援等震災関連のものとなりました。

- ・海岸林の再生整備、プロ野球の森整備など長期間に及ぶ事業を推進するための体制整備の構築が求められており、そのための担い手の確保が大きな課題となってきました。

森とのつき合い方の勉強、

プログラム開発に係る事業

参加者数は、昨年比 37% 増となりました。いわき市から受託した「環境まちづくり担い手育成支援事業（里山再生啓発事業）」などが加わったことによります。



監査報告する監事の猪村さん

自然案内人の育成ならびに

インタープリテーション事業

- ・自然案内人養成講座を昨年 3 月に日本自然保護協会（NACS-J）との共催による講習会を開催したことから今年度は見送り、自然体験プログラム研修会の中でスキルアップ研修のみとしました。

- ・自然観察会・自然体験活動については対前年比 19% 増となりました。これは、ろうきん森の学校復興支援イベントやプロ野球の森設定イベントを実施したことによります。

また、昨年10月から木工クラフト体験活動を月2回定例実施することになりました。

その他

会報「ヤマザクラ」を年4回発行することとし、5月に創刊号を届けることが出来ました。また、ホームページにより一般に発信しました。

引き続き、平成25年度事業計画の審議に入りました。事業実施の方針は「安全第一に楽しく」をモットーに会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与するために取り組んでいくこと」を基本として活動することが提案され、慎重審議の上事業計画（案）予算（案）とも、原案どおり承認されました。

事業内容については、昨年度とほぼ同様の活動を行うこととなります。

昨年から取り組み始めた、プロ野球の森の整備と海岸林再生整備が本格化することに加え、栗園跡地（1ha）の再生整備を行うこととなります。

また、地元材の利用促進のためのネットワークづくりについても取り組んでいきます。

役員改選について

現在の役員は平成25年6月をもって任期満了となることから選任の提案があり、現役員全員の留任ということになりました。

また、その後の理事会において欠員となっていた副理事長に木田章一理事が就任することになりました。

新しい役員は次のとおりです。

- 理事長 松崎和敬。
- 副理事長 池野上幸弘、木田章一。
- 理事 金子喜弘、佐藤行年、野口紘、太田満、菅野貞夫、桑原敏和、佐藤幸二。
- 監事 伊藤貞夫、猪村珠紀。

懇談会の実施

総会終了後、総会出席者全員による懇談会が開催され、自由に和やかな話し合いが出来ました。

その中で、本会で実施している事業の担当者を示してほしい要望がありましたので記載致します。



懇談会スナップ

活動内容と担当者（連絡先）

I. 定例活動

No	項目	活動日	氏名
1	森林整備作業	毎週水曜日 第1,3土曜日	桑原
2	農作業	毎週月曜日 第2,4土曜日	太田 松本(威)
3	木工クラフト 体験活動	第1,3火曜日 第3日曜日	桑原 小泉 佐藤(勝)
4	プログラム勉強会	毎週木曜日	野口 小泉 桑原
5	ろうきん森の学校 自然体験活動	第3日曜日	野口 P

II. その他の活動

No	項目	氏名
1	キノコ栽培関係作業	荒川、佐藤(幸)
2	一般市民対象自然観察会	佐藤(幸)、古川
3	環境教育支援	野口、P
4	自然体験活動支援	野口、P
5	森づくり担い手養成関係	佐藤(行)、G
6	ホームページ運用	池野上、桑原
7	会報編集	伊藤
8	湯ノ岳山荘管理運営	池野上、金子 佐藤(誠)、 松本(學)
9	プロ野球の森・海岸林再生 整備	佐藤(行)、桑原

P：プログラム班メンバー

G：福島県グリーンフォレスト認定者

森林整備班の活動

桑原敏和

森林整備班の主な活動については、下記表の通りです。

森林整備班活動一覧表 (H25.4.21~7.20)

No	月/日	曜	実施事項	名
1	4/24	水	山荘、大径木クヌギ玉切、運搬	7
2	5/1	水	山荘、大径木クヌギ玉切、運搬	7
3	5/4	土	休み	—
4	5/8	水	山荘、クヌギ薪割 (ストーブ用)	6
5	5/15	水	山荘、クヌギ薪割 (ストーブ用)	5
6	5/18	土	(グリーンフォレスト総会)	—
7	5/22	水	クヌギ薪割、物置小屋作成	7
8	5/29	水	森の工房周辺整理整頓	3
9	6/1	土	杉の間伐作業道封鎖作業	4
10	6/5	水	杉の間伐作業道封鎖作業	5
11	6/12	水	21世紀森復興祭準備	3
12	6/15	土	21世紀森復興祭 (定例整備中止)	—
13	6/19	水	森の工房周辺山荘入口整理整頓	4
14	6/26	水	プロ野球の森チッパー試運転、	5
15	7/3	水	山荘バンガロー周辺草刈	5
16	7/6	土	プロ野球の森、竹チッパー処理	7
17	7/10	水	プロ野球の森、竹チッパー処理	7
18	7/13	土	プロ野球の森、杉枝 //	7
19	7/17	水	山荘周辺草刈	5

時間は、基本的には9:00~12:00 午前中です。

小径木の間伐の有効利用のために堀材として開発されたものの活用策の一つとして物置小屋(1坪)を試作した。



6/26 チッパーでモウソウ竹破碎試験

田植

1.期 日 平成25年5月26日(日) 天候 (曇)
9:00~11:00

2.場 所 好間冬水田圃(約150㎡)

3.品 種 コシヒカリ

4.参加者 10名

水田は、オタマジヤクシ、アメンボー、ヨコエビ、ミジンコ等々冬水田圃の特徴である多くの生物が見られました。今年も美味しい米が出来そうです。

木田さんご夫妻には大変お世話になりました。



田植風景

田植当日(5月26日)は金成公園岩出の郷でも田植が実施されました。

農作業 2013 年夏の活動報告

農作業班 太田 満

- さつまいも苗等の植え付け作業。
温床で栽培したさつまいも苗を、イノシシ避けフェンス内の畑に5/13、6/3、6/24の3回に分けて約500本植え付けました。
また、この畑にはカボチャと落花生も植えています。
- 崖崩れの場所の改修工事が行われました。
5月3日、専門業者により崩れた崖の改修工事が行われて、作業機械の活躍などにより夕方までに完了しました。

3. 玉葱などの収穫作業

2月に苗を定植した玉葱がほぼ順調に育ち、6月17日に収穫しました。

また、ソラマメやラッキョウも収穫しました。これらの作物の出来はほぼ良好でした。

4. その他

- ・畑周り、および農道周辺の草刈り。
- ・仮駐車場前の畑に、コスモス苗 400 株を植える。
- ・豚糞堆肥、2 t 車 1 台分購入して搬入。
- ・ヘチマ棚を設置。畑内の除草。
- ・農道の補修。スズメ蜂トラップ設置。

5. 今後の予定

- 1) ジャガ芋、カボチャなどの収穫作業。
(7月～8月)
- 2) 長ネギの植え付け、大カブ、大根などの種蒔き。
- 3) ビニールハウスのフィルム張替え。
(7月～)
- 4) 畑内の除草、秋冬野菜の準備など。
(7月～9月)
- 5) 草刈り、農道の補修など。

*** 新規の参加者紹介 ***



5月から農作業に参加の関口先生

今回から、農作業に参加し活躍している新人を紹介します。第一回は関口先生です。

先生は今年3月に、いわき明星大学の学長を退官され、5月から活動に参加されています。

畑での野菜作りに興味あるということで、現在会員用の畑で野菜作りを始めています。

木エクラフト班の活動

桑原敏和

木エクラフト活動一覧表 (H25.4.21～7.20)

NO	月/日	曜	実施事項	名
1	5/7	火	1回、額縁(絵写真L版サイズ) 枠カット、縁の接着まで	10 (3)
2	5/21	火	2回、額縁(絵写真L版サイズ)	9 (3)
3	6/4	火	21世紀の森復興イベント 木エクラフト作成(指導)研修	9 (3)
4	6/18	火	足踏みロクロによる リング及び椀コースター作成	11 (3)
5	7/2	火	木琴 埼玉大学木育研修の続き作成	11 (3)

() 指導者

昨年10月より第一、第三火曜日を定例活動日としておりましたが、7月よりろうきん森の学校開催日の午後にも活動を追加することにしました。



木エクラフト活動風景

木育教育指導者養成研修会

- 1.開催 平成25年6月22日(土)～23日地(日)
- 2.会場 湯ノ岳山荘(森の工房)
- 3.講師 埼玉大学 浅田教授他学生6名。
- 4.受講者 10名



研修会スナップ(大工道具箱作り)

5.研修会作品

(1) 6/22 (土) 大工道具箱

○指導のポイント

- 板の切断：鋸で直線、直角に切断のため、板の固定、鋸の使い方を先ず指導する。
- 接着剤の使用法： 接着する面、全面に接着剤を塗る（マダラに塗ると隙間が出来る）
- 釘打ち： 釘打ち材を縦にする（釘の位置や釘の曲りを確認出来る）他面材を利用しコの字形にセットし釘打する。

(2) 6/23 (日) 木琴作り

○指導のポイント

- 準備の段階：材質を均一にすること。
- 音階合わせ：
低音：材を長くする・材を薄く・切り込みを深く。
高音：材の両端を切断していく。
- 音感の問題は個人差がある。

プロ野球の森の整備状況

担当 佐藤行年

5月第2～5木・金曜日を整備日に設定8日間延べ34名の方に協力していただき約0.5haの整備を行うことが出来ました。

整備場所は、中央遊歩道から尾根に向かって南へ向けて行いました。

整備内容は大経木のコナラ、山桜、中経木のアオダモ、ネジキ、タカの爪、低木のヤマツツジ、ナツハゼ、ヤブツバキ等は残し、林内を暗くするようなアオキ、アセビ、リョウブ、ネズミモチなどを整備することで見違えるほどすっきりしました。また、この森はヤマウルシが多く危険木として整備しました。

今回導入した枝切チェーンソーは手頃で軽く思ったより役に立ち作業は早く進みました。

6月～9月は夏期で気温が上昇しますので、熱中症予防のため、プロ野球の森の整備は休みます。10月以降行う予定です



整備休憩の一時

いわき市緑のファミリー教室

いわき市緑化推進委員会主催の「第28回いわき市ファミリー緑の教室」が湯ノ岳山荘で開催されました。

この教室は、家族で自然に親しみながら緑に関心を高め、緑の恩恵に感謝し、緑を大切に思う心を深めていただく思いで開催され、下記内容で実施されました。

- 日時 平成25年6月29日(土) 9:00～12:00
- 場所 湯ノ岳山荘(観察コース、森の工房)
- 内容 自然観察会、木工クラフト、石窯料理。
- 実施結果

- 参加者 小学生とその家族34名が参加。
- 自然観察会(湯ノ岳山荘観察コース2)
 - ・先ず広場でネイチャーゲームを行った後4班編成し、班毎に行動することにしました。
 - ・コース2を散策、森の緑や昆虫を観察、充分楽しめたと思っております。



自然観察コース2で

- 木工クラフト
 - ・森の工房で、カスタネット、リュールシロフォン等木工クラフトに挑戦、思い思いの音色を楽しみました。
- 丸太切
元気な子は大鋸で丸太切に挑戦、切る作業の苦労を理解したようでした。
- 石窯料理
石窯で焼いた焼芋やニンジン、タマネギ。特にピザは大人気でした。十分に満足いただけたと思っております。

石窯料理は当たり前ですが窯の温度がポイントです。今回のように、多量の芋やピザを焼く場合は焼き料理(芋や野菜)開始時間を早める必要があります。それには、窯を料理に適した温度にするには2時間を要す、点火を早める必要あり。

植樹作業支援 福島県主催

福島県オフセット・クレジットの森林づくり

この行事は環境省のオフセット・クレジット（J-V E R制度）にもとづくクレジット販売益を活用した森づくり活動で、広葉樹 210 本を植樹しました。

1. 日時 平成 25 年 6 月 30 日（日）9 時～12 時
2. 場所 いわき市常磐藤原町湯ノ岳地内（栗園跡地）
3. 苗木 ケヤキ 70 本、クヌギ 70 本、ヤマザクラ 70 本
4. 参加者 54 名、（9 班編成）
5. 植樹指導員 いわき青年林業会議所メンバー及びふくしま・グリーンフォレスターの会いわき支部メンバー。
6. 植樹作業場所
整備に多大な労力を要した放置栗園。
植樹作業は、地拵えが整い作業環境は良好であった。



植樹作業

- ・広葉樹の苗木は、ポット苗で樹高が 1.5m 以上に成長したもので、夏期の植栽は苗木に大きなストレスを与え活着率の低下が心配だ。
- ・7/15 現在、猪による苗木倒しと野兔の食害発生。
- ・今後の育樹活動は樹木の生長及び森林づくりに大きく影響すると思われ、育樹活動の継続が望まれます。



作業終了後記念写真

21 世紀の森公園復興祭へ参加

桑原敏和

平成 25 年（2013 年）6 月 15 日（土）「復興記念ゲーム～野球の力で復興を in いわき」でプロ野球イースタン・リーグ [巨人―千葉ロッテ] 戦が、いわきグリーンスタジアムで行われました。

試合に合わせてスタジアムの外では「21 世紀の森公園復興フェスティバル 2013―いわきの元気な子供から」が開かれました。

本会は、プロ野球の森設定記念植樹場所前に「木工クラフト体験コーナー」を設けて竹プロジェクトメンバーの協力を得て参加しました。

木工クラフト（木の枝クラフト・リューシロフォン・蛙カスタネット・花瓶台・丸太切）と竹細工（竹トンボ・バランストンボ）の参加者は約 300 名に達し、大勢の方々に楽しんでもらうことができました。

スタッフは竹プロメンバーを含めて 17 名で対応しました。



大入りの木工クラフト体験者



丸太切を体験する野球少年

プロ野球イースタン・リーグ公式戦「巨人―千葉ロッテ」は延長戦（10 回）。結果は 2―1 で千葉ロッテが勝利しました。

自然体験学習の支援活動

プログラム開発グループ

野口 紘

大変な原発放射能問題も3年目となり学校内の除染問題もある程度進み新学期を迎えた児童にも素晴らしい笑顔が戻り校庭内の自然体験活動学習（生活・総合学習）は勿論校外の学習に対してもPTAのみなさんの協力も有り若干戻りつつあります。

各担任教師と学習支援内容の年間企画の考え方も積極的な担任教師が増えて来たのが今期の状況です。今後が楽しみです。

◎いわき市立小学校学習支援活動

NO	月 日	学校名	学年	学習	名
1	4・11	錦東小	3	総合	38
2	4・25	上遠野小	3	総合	40
3	4・26	上遠野小	4	遠足	37
4	5・06	田人2小	全	林備	8
5	5・07	田人2小	全	総合	14
6	5・08	上遠野小	4	総合	42
7	6・03	上遠野小	4	総合	40
8	6・04	上遠野小	4	総合	80
9	6・13	中央台北	4	総合	68

◎いわき明星大学 科学技術学部学習支援

・学校林整備・調査

4月(4/5, 4/12, 4/19) -----延14名

5月(5/8, 5/10, 5/15, 5/17, 5/25, 5/31) ---延17名

6月(6/7, 6/14, 6/21, 6/28-) -----延16名
教授との意見交換会 4/19----- 8名

◎筑波大大学院 生命科環境科学研究科

調査支援

・湯の岳 森林土壌調査

4月(4/6)-----3名

5月(5/3, 5/28, 5/29)-----延10名

6月(6/15, 6/16)-----延6名

◎研修会

4/20「植生調査の仕方について」

講師：筑波大大学院 上条教授他

参加者：13名

6/8～6/9

「野生動物が森林環境に及ぼす影響について」

講師：筑波大大学院 大橋研究員 他

参加者：延19名

6/19～6/20

「地域の環境資源を活かした環境教育の

進め方について」

講師：前日本自然保護協会事務局長

開発先生

参加者：延28名

◎田人地域の環境資源調査

6/27 今後の進め方についての打合せ

参加者：13名

◎今後の活動について

①プログラム研修会 湯の岳山荘

(毎週木曜日 9:00～ 雨天決行)

②いわき明星大学 学校林整備調査支援

(毎週金曜日 9:00～雨天決行・座学)

③筑波大大学院 調査学習支援

④各学校 学習支援

・7/25：育成市民会議 木育クラフト教室

・7/26：地区教育研究協議会 支援

・9/19：錦東小学校「3学年」学習支援

・9/21, 9/28, 10/5, 10/12

：いわき明星大学リーダ養成講座

主な総合学習支援（自然体験学習）若森秀樹

上遠野小学校の支援活動は年間5回の実施を計画されております。

第1回

1.実施：平成25年4月25日(木)

2.支援児童：上遠野小学校3年生児童32名

3.学習テーマ

(1)年間テーマ：森のしくみ「上遠野たんけん」

(2)サブテーマ：校庭の自然体験(樹木、昆虫の観察)から見える森のしくみ。

支援内容

教室で、木が二本、三本ではなんと読むのかな？これから森のお話だよ。紙芝居「森からのおくりもの」森の大切さを、楽しく学習しました。



グループで決めた木をスケッチ

校庭にてグループ毎に好きな木を選び、名前をつける。遠くから見た樹形、近くによって観察したことをワークシートに記入します。



近くに寄り、木の肌や虫など詳しく観察します。

自然を観る力や感覚がどのような変化があるのか？季節も変わると、自然もどんどん変化します。次回の活動が楽しみです。

第2回

実施：平成25年6月4日(火)

支援児童：上遠野小学校4年生児童32名

(殆どの父兄が参加、28名)

学習テーマ：「遠野の大自然発見」

八潮見城ハイキング

支援内容

昨年に続き、4年生のハイキングに同行しました。本年は城跡で昼食を摂り、滞在時間を長くしたのと、前日に里山の自然について講話し、理解を助けたため、時間に余裕がある楽しい里山探検でした。



亀の子石の上で、周囲の観察。



モミノキの巨木。表面の温度を測ると、木により違

平成24年度北海道・東北地区森づくり活動

コーディネーター養成ブロック研修

標記研修に出席してまいりましたのでその要旨を記載します。

1.日時 平成25年6月21日(金)13:00

～平成25年6月23日(日)12:30

2.場所 ふくしま県民の森

フォレストパークあだたらビジターセンター

第1日

(1) 講義：福島県森林保全課 鈴木主任主査より「福島の森林除染と福島県民の森の除染」について。

除染の場所・除染の方法から仮置き場まで見学しました。

第2日

(1) 参加団体の活動事例発表で、**松崎理事長**より本会の活動内容について発表しました。

○本会の設立の経緯からNPO法人認証まで。

活動内容としては、(1)市民の森づくり。(2)森との付き合い方の勉強会、プログラム開発。(3)自然案内人の育成ならびにインタープリテーション。について説明後「震災後の活動状況について」報告しました。



質問に答える松崎理事長

(2) 講義：谷本丈夫宇都宮大学名誉教授による「用途に合わせた森づくり」そしてフィールドワーク「森の観察」と現場の講義を受けました。

第3日

(1) 講義：山本信次岩手大学准教授による「森づくり活動におけるコーディネーターの役割」を受けました。

(2) 2日目～3日目にかけて、ワークショップ「森づくりの課題と問題解決」について、参加者同士で話し合うことができました。各地(北海道・東北6県)の12団体の方々と意見を交換。有意義な時間を過ごすことができました。(伊藤)

ろうきん森の学校 (4月～6月) 若森秀樹

1. 平成25年4月21日(日) 天候 雨

- (1) 実施内容
①自然観察会”山野草の観察と採取”
②野外料理体験
(2) 参加者 13名
(3) 実施内容 昨夜来の強い雨が続き、雨の中での観察会・勉強会になりました。



いつもの森の学校看板の前。



採取したものを並べて鑑定します。

食可能種 25種：アケビ、アザミ、ウワミズザクラ、オケラ、カキ、カラスノエンドウ、ギシギシ、コゴミ、コシアブラ、サンショウ、セイダカアワダチソウ、ゼンマイ、タラノメ、タンポポ、ツクシ、ツリガネニンジン、ドクダミ、トリアシショウマ、ハナイカダ、フキノトウ、ブタナ、ヤエザクラ、ヤブレガサ、リョウブ、ワラビ、他に食不適、毒性種チゴユリ等8種あり。

本日のご馳走の数々 (天ぷら、おしたし、生食)
・ウド・タケノコ・コゴミ・タラノメ・オオバギボウシ・フキノトウ、畑より・大根・アスパラガス。

お昼は、いつもながら美味しい時間です。多くの方々の参加を希望します。

2. 平成25年5月19日(日) 天候 曇

- (1) 実施内容
① 自然観察会”季節感を楽しむ里山散歩”
② 森林療法体験 ③ 野外料理体験
(2) 参加者 21名
(3) 実施内容 今回は労金連合会から6名の方が参加し、竹林の伐採を体験しました。
① 自然観察会
新緑の観察コース(1)を歩きました。途中、当会の名物料理の”セイダカアワダチソウ”の新芽など、本日の食材も採取しました。
② 森林療法体験



セラピー広場で森林療法体験

森の空気を吸ってリラックス、森林療法を体験しました。

③ 外料理体験。今年のモットーは、
”自分で作って食べること”。
竹筒で炊く”炊き込みご飯”、オコゲもできました。
椎茸のホイル焼きは、お酒を少々垂らすと風味がでます。



森林整備体験(モウソウ竹の伐採)

労金連合会の方々は、午後は竹林の除伐を体験。伐倒・枝払・玉切まで実施、林床に整理しました。

3. 平成 25 年 6 月 16 日（日）天候 雨・曇

(1) 実施内容

- ① 自然観察会” 季節感を楽しむ里山散歩”
- ② 野外料理体験（石窯でパンを焼く）

(2) 参加者：18 名

(3) 実施内容 生憎の梅雨空で、予定した” 森の手入れ体験” は、中止となりました。

① 自然観察会 幸い霧雨程度となり森に霧が発生、森の中はしっとりと落ち着いた雰囲気でした。そして、豊かな緑色の中をゆったりと 2 時間歩きました。

観察出来た花は、ヤマボウシ、ウツギ、ホタルブクロ、オオバギボウシ、ノアザミ。食べられる木の実はウグイスカグラ、モミジイチゴ、サクラの実。虫は、モリチャバネゴキブリ、ヒメウラナミジャノメ、ダイミョウセセリ。

外来種の花として、シロツメクサ、ブタナ、オオキンケイギク、ヒメジオン。

他にヤマトナメクジ。

その他観察した植物等として、カラスノエンドウ、ギボウシ、ヤブジラミ、オカトラノオ、セイタカアワダチソウ、ウワミズザクラの実、サンショウのとげ、ツタウルシ等ゆっくり観察出来ました。



霧の中でとても良い雰囲気での観察会

② 野外料理体験 今月の目玉は、石窯でのパン焼き。

生地を丁度良い大きさに切り、丸めてからしばらく醗酵させます。ほんのり焦げ目の焼き上がり。サラダを挟むと、大変美味。



焼きあがったパン

福島県もりの案内人の会いわき支部活動紹介

春の観察会記録

佐々木 志津男

1. 実施日時

2013 年(平成 25 年)5 月 12 日(日) 晴 18℃
(集合) 7:40 (観察) 8:40~14:40
(解散) 15:50

2. 観察場所

福島と茨城の県境で多賀山地北部の標高 650~700m の山塊である「小川ブナ林」と「花園神社奥ノ院」と「花園神社」。

3. 参加者（8 名）

大内、菅野、氏家、津崎、深瀬、斉藤夫妻
佐々木。

4. 観察結果

定波「小川ブナ林」の観察は、林床に、捕集ネットや No.プレートが付く囲いなどが設置されている研究調査の森林です。その研究調査現場を踏み荒らさない気配りが必要です。

今回の観察地域は明るい枝沢へ入る、沢床には果実のかけ群・イトリ・コリンソウ・カアオイなどが観察された。



定波「ブナ林」の観察スナップ

「花園神社奥ノ院」では、落差 85m の七ツ滝を横目に登り山頂から若草色と山桜に染まる多賀山地の美しさに見惚れた。

亀谷地湿原でミズバショウや赤蛙の五月蠅いほどの合唱を聞いた。

石楠花の咲く「花園神社」は、樹齢 600 年の三本杉の巨木等神社特有な林を観察できた。

観察は、昨秋とほぼ同じ場所を計画した。森は、薄緑から朱・茶色の芽吹きで染められ冬木立と違った表情を観察できた。

そして、昨秋観察したものの復習・確認、また新しいものを発見する等観察のスキルアップが出来たと思っている。

改めて定波はブナ、檜、楓などの大木の森林は豊かで魅力ある森林だ。

夜の生き物観察会

佐藤幸二

第2回一般の方々を対象にした自然観察会

1. 実施日時 平成25年7月6日(土)
18時30分～21時
2. 実施場所 県立いわき公園
3. 参加人数 38名 (大人16名、子供22名)
他に県職員1名参加



観察会開始前の集合

4. スタッフ 本会員11名
「古川、津崎、深瀬、根本(輝)、佐藤(行)、鈴木(勤)、鈴木(信)、鈴木(春)、桑原、鈴木(正)、佐藤(幸)」
5. 実施内容

募集定員20名を大幅に超えた38名の参加者があり「夜の観察会」の人気ぶりが伺えるイベントとなりました。

4班編成で各リーダーの案内でスタートしましたが、最初の数分間は不安や恐怖感もあり静かな出発となりました。



出発前のミーティング (真剣な参加子供達)

やがて、リーダーが照らすライトの中に 餌(死骸)に群がるシデムシやオサムシ等など、杭の上にはザトウムシやヒヤクトリムシ等、子供たちからは歓声が上がり観察会も徐々に盛り上がって行きました。

子供たちがお目当てのカブトムシやクワガタは残念ながら姿を見せませんでした、数センチも

あるムカデに驚いたり、大型のクワガタムシを捕獲しては歓声を上げ、暗闇の森に子供たちの声が響き渡った一夜でした。



夜の観察スナップ

今回の企画の目玉は、「ホタル」でしたが、まったく見られませんでした。



夜の観察スナップ (ライトで昆虫の観察)

「ホタル」は2～3年前には確かに生息していたのですが環境の変化で完全に消滅してしまった様子です。

今回の応募者(辞退者も含めて)の中には、ホタルが見たい希望者が沢山あった様に思います。

「ホタル」をきっかけに、自然に親しみ自然を大切にすることを育てられればと云う思いを残しながら、観察会は無事終了しました。



参加者全員で記念写真

会員募集 プロ野球の森整備友の会

プロ野球の森については会報第2号・5号でお知らせした通り、いわき市では全国4番目です。

プロ野球の森の整備については市民の手で、市民のための森を目指して取り組むことが第一に求められております。

整備は、「安全第一で楽しく」できるよう進めてまいりますので、小学校高学年生以上であれば可能です。

月に4~5日(うち土日2~3日)整備活動日を決めてその中で都合のつく日に参加するという形で進めていきたいと考えております。そこで、市民の皆さんに声をかけて下さい。また、会員の皆様も是非参加下さい。

●整備活動内容は

- 1.遊歩道の簡易な整備。
- 2.モウソウ竹の除去作業。
- 3.不要木の除去作業。
- 4.市民の森に親しみ、利用して、交流することの出来る機能の整備についての検討作業。
- 5.多くの市民に利用してもらえるような仕掛け作り。

●作業実施期間

原則として10月~5月の間とします。

●その他

作業道具等は貸与しますので、作業に適した服装・靴を準備してください。

●入会申し込みは

湯ノ岳山荘へ TEL/FAX 0246(44)3273

申込み項目は、氏名・生年月日・住所・TEL。

「子供が自然と遊ぶ楽校ネット」を結成

子どもたちの自然体験活動及び環境教育に関する福島県内の8団体が横に連携し、お互いの強みを活かした中で、子どもの自然体験を協働で実施するネットワーク組織「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」を2013年3月に結成され、そのなかのメンバーとして本会も加わることになりました。

他のメンバーは鮫川村、郡山市、南会津町2ヶ所、猪苗代町、会津若松市、矢吹町で活動している団体になります。

このネットワーク組織に加入後も従来どおりの活動を展開していくこととなりますが、冬場に野外活動が制約される、会津や中通りのメンバーに対して湯ノ岳のフィールドを提供しながら協力していくことが加わるようになると考えております。

編集後記

猛暑の日が続きます、連日熱中症のニュース、俺は大丈夫等と油断は出来ません。まだまだ暑さは続きそうです、体調を管理しこの暑さを乗り切っていきましょう。

先日(6月9日)第9回通常総会が開催されました。事業の実施方針の第一は「安全第一に楽しく」です。

今年度も無事故無災害で楽しく森に親しみたいと思っております。

会報「ヤマザクラ」は、平成24年5月に創刊号を届けてから、3ヶ月毎に発行し今回は、第9回通常総会を主に第6号を発行することが出来ました。

また、理事桑原さんの強い思いが実り、5月からホームページにより会報を一般に発信することが出来ました。

ホームページの会報は、写真はカラーで見え目が美しく見える反面、誤りも明瞭に見え編集作業者として非常に恐いです。

この機会に、会員の会報として少しでもより良い会報にして行きたいと思っております。

会員の皆様には、会報に対する意見を是非お寄せ願えれば幸いです。宜しく申し上げます。

ホームページのアドレスが変更になっております、下記のアドレスとなりました。

(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内
TEL/FAX 0246-44-3273
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp
HP:http://iwaki-mori.jimdo.com/